

令和２年度モニター通信における意見及び回答⑥

意 見

【観光・産業・交流】ジオガイドが見た伊東景勝地の改善点について（要旨）

(1) 城ヶ崎海岸の昨年の台風による倒木処理について

門脇駐車場にある展望台の倒木が、８月２０日現在処理されておらず、大変見苦しい状況でした。チェックはしているのでしょうか？

(2) 大淀・小淀に下りる階段の手すりについて

度重なる台風等で押し寄せる海水の圧力によって手すりが大きく曲がってしまい、肥満の方が通りづらい状態にあります。早く改善してほしいです。

(3) 大淀・小淀に下りる階段の上の岩について

下りる階段の上の岩がいつ落ちてきてもおかしくないような状態ですが、注意喚起の看板等が目立つところがありません。落石すれば事故に繋がりますので、対応をお願いします。

(4) いがいが根の支柱について

いがいが根は、伊豆大島をバックに支柱を入れて写真を撮るビュースポットになっていますが、支柱が今にも倒れそうで、字も消えかかっています。景観に配慮した支柱に取りかえてほしいです。

(5) さくらの里スコリアラフトの保全について

本来はオムライス状に見えるはずのスコリアラフトが、それ自体に生えた木等により崩れつつあります。早急に保全が必要だと思います。

(6) 一碧湖の大池小下の歩道の舗装化について

大池小下の歩道は歩きやすくなりましたが、途中にまだ工事用の手すりが残されています。工事の継続予定がなければ撤去してほしいです。

(7) 一碧湖周辺のナラ枯れ対策について

大池小下にナラ枯れが見られ、倒木になりそうなものが多く、遊歩道の歩行者に危険が及ぶ可能性があるため、注意喚起の看板等を設置してください。

また、抜本的なナラ枯れ防止対策をしないと樹木がなくなってしまう可能性があります。

(8) 大室山について

大室山観光リフトの尽力により、問題となる点はありませんでした。

回 答

(1) 城ヶ崎海岸の昨年の台風による倒木処理について

当該倒木につきましては、御指摘のとおり、多くの来遊客がご利用になる展望台の目の前にも関わらず景観を阻害し、観光客の皆様には長期間にわたって大変御迷惑をお掛けしております。

専門業者に撤去を依頼しておりましたが、発生箇所が崖地であることから、専用車両の手配の関係により作業に着手出来ていない状況が続いており、その後、8月22日に作業を実施し、撤去を完了いたしております。

遊歩道付近で倒木が発生した場合は、通行者の安全確保のため早急に伐採処理を行っておりますが、伐採木が置かれたままの状態である箇所がいくつか残っておりますので、景観を阻害する箇所につきましては順次、撤去処理を進めてまいりたいと考えております。

(2) 大淀・小淀に下りる階段の手すりについて

城ヶ崎海岸遊歩道につきましては、来遊客が安全で快適に利用できるよう、維持管理業務の委託先が現地の巡回・点検を行うとともに、観光課職員も必要に応じて現地確認を行っております。

当該箇所につきましては、手すりの支柱が通路の内側に向かって曲がってしまっており、来遊客がスムーズに通行できるようするには専門業者による修繕が必要であると認識しております。

当該箇所を含め、遊歩道その他箇所におきましても、老朽化や破損等が生じ修繕対応が必要な状況であることから、来遊客の安全確保を第一に考え、優先順位を付けた上で順次対応してまいります。

(3) 大淀・小淀に下りる階段の上の岩について

前述のとおり、来遊客が安全で快適に利用できるよう、委託業者及び観光課職員が当該地を確認している中では、今すぐに落石するおそれはないと認識しておりますが、今後も状況を注視していき、必要に応じて注意看板の設置をするなどの対策を講じてまいります。

ジオガイドの皆様におかれましては、お手数をお掛けしますが、引き続き、来遊客を誘導される際に御留意くださるようお願いいたします。

(4) いがいが根の支柱について

当該標柱につきましては、自然研究路の各所に同じデザインで設置している中、風などの影響を強く受ける立地であるため、劣化が進行しているものと考えられます。

御指摘のとおり、いがいが根は自然研究路の中でも人気のビュースポットであることから、早急な対応が必要であると認識しておりますが、城ヶ崎海岸では、他箇所におきましても老朽化や破損等が生じ修繕対応が必要な状況であるため、優先順位を付けた上で、景観に配慮した標柱への取替え等の対応を図ってまいります。

(5) さくらの里スコリアラフトの保全について

9月1日に生涯学習課職員が現地を調査いたしました。

スコリアラフトから生えている草等につきましては、生涯学習課と観光課が連携し、今後定期的に除去してまいります。

スコリアラフトから生えている木は桜ですが、この桜の木の種別が不明であるため、現在経

過観察をしております。

今後、木の成長によりスコリアラフトに影響を及ぼす場合は伐採いたしますが、現地調査の際に根元の一部が枯れていることを確認しているため、しばらくの間状況を注視してまいります。

(6) 一碧湖の大池小下の歩道の舗装化について

大池小学校下付近の区間における遊歩道のウッドチップ舗装工事につきましては、既に令和元年度内で完了しておりますが、工事前から一部区間で設置していました手すりにつきましては、継続して設置しております。

遊歩道をウッドチップ舗装したことにより、利用者は安全に通行していただけるようになったことに加え、工事現場用の単管を用いたこれらの手すりは周囲の自然景観に合わないことから、撤去することを考えておりますが、

一部につきましては、引き続き、利用者の安全対策として残し、その際には景観に配慮し茶系色で塗装すること等を検討しております。

(7) 一碧湖周辺のナラ枯れ対策について

一碧湖周辺のナラ枯れ被害につきましては、昨年度静岡県森林・林業研究センターへ相談し、県担当職員と共に現地を確認しております。

現地確認の結果、県担当職員からは、数年前から虫が侵入した形跡が見られていること、ナラ枯れはすべての木が枯れる訳ではなく、20%～30%ほどが枯れるのみであること、また、一過性のものであり、研究によると長くても5年程度で終息するものであることから、今後は終息傾向になり、再来年には終息することが予想されるといった見解をいただいております。

現在、本市ではナラ枯れに関する具体的な対策は実施しておりませんが、ナラ枯れの被害対策法を市のホームページに掲載しており、加えて職員による巡回や市民の方からお寄せいただく情報により状況把握に努め、県と情報を共有しているところです。

ナラ枯れについては、本市のみならず広域的な対策が必要と考えるため、引き続き専門的な知見を持つ県担当部署と協議してまいります。

(8) 大室山について

大室山は伊東八景の一つであり、日本人観光客のみならず外国人観光客にも大変人気のある観光スポットでもあることから、引き続き、池観光開発株式会社様の協力をいただきながら、本市を代表するジオサイトとしての魅力向上に努めてまいります。

(1)～(4)、(6)、(8)について 担当：観光課 観光施設係 電話：32-1716

(5)について 担当：生涯学習課 文化・スポーツ係 電話：32-1963

(7)について 担当：産業課 農林水産係 電話：32-1733